

---

# ヒル魔が看病！？

紅瑠実

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ヒル魔が看病！？

### 【Zコード】

Z6938F

### 【作者名】

紅瑠実

### 【あらすじ】

まもりが風邪を隠そうとしたが失敗ヒル魔がまもりの看病

(前書き)

少し甘い感じです。駄作でもいいよとこいつ石丸なみの心の持ち主は  
進んでください

今日は朝からまもりがちがづかねえ  
絶対2m位はあけてる。  
俺何かしたか？

今日はあいつの誕生日じゃねえし  
昨日もちゃんとメールしたし  
思い付かねえ

じゃ俺のせいじゃねえのか？  
それならよけい分からねえ！  
それなら本人に聞くしかねえな。  
「おい糞マネ何か隠してねえか？」  
「な、なにもないわよ。」

絶対何か隠してるな！

「言えよ！」

「嫌よ」

何だなにを隠してる？

表情から読み取れ！

頭をまわせ！

何を考へてるんだ

分からねえ！

俺は好きなやつの考へてる

事も分からねえのか？

最悪だな。俺

「ヒル魔くん私は大丈夫だから」

フラン

まもりがヒル魔の方に倒れて來た

「どうした？」

ヒル魔にまもりが抱き付いて來た

「熱あるじゃねえか！？」

ヒル魔はまもりを抱えて部室から  
出て部員達に先に練習してると  
言つて40ヤード5秒1ぐらいの  
スピードで保健室に運んだ。  
保健室には誰もいなかつた  
ヒル魔はまもりをベットに  
寝かした。

「大丈夫か？」

「「ゴメンね…試合前なのに本当「ゴメン」」  
そんなことで…

家で安静にしてるほうがいいだろ？  
連れて帰ろ？！

ヒル魔は部室にこんな手紙を残した  
糞野郎共

放課後はランニングしてからいつもの  
練習してろ！俺はいけねえがさぼるなよ  
ケルベロスにさぼつたやつは喰つていい  
ぞつて言つてある。さぼるなよケケケ  
悪魔の番人には気をつける。ケケケ  
ヒル魔

大急ぎでパソコンで打つて印刷して  
机に貼り付けた。

まもりのかばんを持つてまもりを抱えて  
走つた。

まもりの家に着くと鍵がかかっていた。  
「鍵どこだ？」

「お母さんが帰つて来ないとないの」  
「チツしかたねえ」

舌打ちしてからまた走つてヒル魔は

自分の家に向かつて走った。

ヒル魔の家にまもりは行つた事ない。  
ヒル魔は自分の家に人を入れた事が  
ないのだが今はそんなこと言つて  
暇はない。

5分も走るとついた。

ガチャ

鍵を開けて入つた

まもりを自分のベットに寝かし  
てから薬を探していると  
前まもりに家に渡された救急箱  
があつた。箱を開けるといろいろな  
薬がある。使えそうな薬を選んで  
水をくんでももりが寝ているベット  
へ行つた。

「薬飲めるか?」

「ありがとう」

まもりは薬を受け取つて飲んでから  
また寝た。

ヒル魔はまもりが寝てもまもりから  
離れずパソコンをしていた。

少しするとまもりがうなされていた。

「うつうう

「大丈夫か?」

まもりは汗をかいている

「まもり大丈夫か?」

はつまもりが起きた。

「はあはあ

息がとても荒い。

「行かないで」

まもりは起きてすぐヒル魔の手を握つた。

「どうした?」「

まもりは涙目だつた

「ヒル魔くんがアメリカに行つちゃう夢見たの」

「大丈夫俺はどこも行かねえ」

安心したのかまたベットに横になつた

「何か欲しい物あるか?」

「水ちょうどい」

まもりは弱りきつた声で頼んだ

ヒル魔はまもりに水をくんで上げた

熱を計るとまだまだ熱があつた

まもりは口を開けて頼んだ

「ヒル魔くん私の抱き枕になつてくれないかしら?」

「オヤスイゴヨウ!」

隣に寝てまもりに抱き付いた

まもりはすぐに寝息をたてながら寝た

ヒル魔もそのあとすぐに意識を手放した

(後書き)

またまた駄作ですみません。文句は残念ながら受け付けません。す  
みません

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6938f/>

---

ヒル魔が看病！？

2010年10月16日00時39分発行